

# Urban Safari

[アーバンサファリ]

Apr. 2019 Vol.09

Cover Story  
トム・ヒドルストン

Relax in Style :  
Weekend Essentials.  
リラックス、してますか？

# Dominic Dormeuil

ドミニク・ドームル / ドームルCEO

写真=仲山宏樹 文=遠藤 匠  
photo: Hiroki Nakayama(BOLL) text: Takumi Endo

## 老舗が投じる一石が 服飾業界の光明に!?

現存する最古の服地商社(ドームル)。その代名詞といえば、1957年に発表した服地素材“トニック”だろう。ウールにモヘアをブレンドするその製法は、当時は画期的。シワになりにくい服地として一世を風靡し、かのジェームズ・ボンドのイメージソースとして脚光を浴びた。その服地作りの伝統について、5代目当主のドミニク・ドームルはこう語る。

「様々な素材を融合してかつてない服地を作る技術は、177年に及ぶ歴史の中で培った伝統の1つです。当社は大手メゾンにも服地を供給していますが、ブランドの高い要求に応えられるのも、こうした強みがあるからだと自負しています」

一方で高い価値を持つ製品を生み出し続けるためにも、ファッション業界全体として考え方を大きく変えなくてはならない時代を迎えているという。

「残念なことですが、ファッションは石油産業に次いで自然を汚染している産業といわれています。しかし服地の原毛はすべて自然に由来するもので、厳しい環境で飼育を行う牧畜家なくしては生産できません。華やかなファッションの世界では話題にされにくいことですが、この認識を忘れてはなりません。当社ではこれまでも自然と共生できる生産体制を重視してきましたが、それをさらに徹底し、生産者の労働環境の改善に取り組む姿勢を改めて強く示したいと思います」

そんな思いを具現化したのが、新作“トニックウール”。この服地は、原毛の採取から製織までのトレーサビリティをブロックチェーン技術で保証。原毛は自然保護に力を注ぐ南米パタゴニアの牧場から調達。環境負荷を抑えた英国ヨークシャーの工場で生産されている。今後5年で、こうしたトレーサビリティを確立した服地を7~8割まで引き上げるといふ。老舗の挑戦が、ラグジュアリー業界に一石を投じることになりそうだ。

### 〈ドームル〉

英国から毛織物を輸入し、フランスで販売する服地商社として1842年に創業。“トニック”や“スポーツテックス”といった独自開発による革新的な服地を生み出し続け、世界各国のテーラーやメゾンブランドのサプライヤーとして揺るぎない地位を確立している。1999年にCEOに就任したドミニクは、リーズ大学でテキスタイルマネジメントの学士号を取得した服地のスペシャリスト。

## Contents

- 08 Cover Story トム・ヒドルストン
- 11 in Your CLOSET
- 18 週末のお出かけはリラックスを誘う服。
- 27 Have a Fabulous Time! FIRST CLASS LOUNGE
- 32 Amazing Stay! URBAN GLAMPING
- 33 Gastronomic City BILBAO
- 35 Luxury Experience! CONVERTIBLE

発行人 Publisher

神原達弥  
Tatsuya Sakakibara

編集長 Editor in Chief

藤原 晃  
Akira Fujiwara

広告部長 Advertising Director

成井 毅  
Tsuyoshi Naruiコントリビューティング・エディター&ライター  
Contributing Editors & Writers遠藤 匠  
Takumi Endo大嶋慧子  
Keiko Oshima古関千恵子  
Chieko Koseki柴田 充  
Mitsuru Shibataたかせ藍沙  
Aisha Takase中村孝則  
Takanori Nakamura渡邊ひかる  
Hikaru Watanabeアートディレクター  
Art Director藤澤拓也  
Takuya Fujisawa(ANAGUMA)デザイナー  
Designer渋谷裕子  
Yuko Shibue(ANAGUMA)

発行

株式会社日之出出版  
〒104-8505 東京都中央区八丁堀4-6-5  
編集 ☎03-5543-1230  
広告 ☎03-5543-1139

●本誌掲載商品の価格表示はすべて本体のみ(税抜き)の価格です。  
●本誌内の記事及び写真、イラストなどの無断複写、複製、放送などを禁じます。  
●本誌の編集内容に関するお問い合わせは編集部直通 ☎03-5543-1230 までお願いいたします。  
なお、土・日・祝日はお休みとなっております。

**米** マーベルコミックのヒーローたちが一堂に会する大ヒット映画のシリーズ最新作、『アベンジャーズ/エンドゲーム』に世界中の熱い視線が注がれる今、改めて振り返っておきたいのは彼のこと。シェイクスピアの国イギリスが生んだ実力俳優トム・ヒドルストン、現在38歳は、『アベンジャーズ』シリーズに登場するヒーローの1人、邪神ロキ役で世界的ブレイクを果たした。一連の映画シリーズにおけるロキの活躍ぶりは、原作コミックの展開にすら影響を与えたほど。キャラクターをモチーフにした映画関連グッズも、ほかのヒーローたちのものに勝るとも劣らぬほど売れに売れている。ただし、面白いことにロキはあくまでも“邪神”であり、世界平和のために奮闘し、信念のために身を削るほかのヒーローたちとは異なる。シリーズに初登場した2011年以来、兄の雷神ソー(クリス・ヘムズワース)をはじめとするヒーローたちを、はた迷惑な野心と悪戯心で悩ませてきた。それでも観客に愛され、人気キャラクターへと成長したのは、やはりトム・ヒドルストン自身の魅力と貢献によるところが大きい。

ヒドルストンがロキ役に出会う前、母国イギリスで活動していたころは、舞台やテレビへの出演が中心だった。もともとは上流の家庭に生まれ、ウィリアム王子も通った名門イトトン校に学び、ケンブリッジ大学を優秀な成績で卒業。演技に対する本格的な目覚めは大学時代で、数々の有名俳優を輩出した王立演劇学校にも学んでいる。以前のインタビューで「僕の俳優人生の中心にはずっと、シェイクスピアがあった」と語っていたこともあるように、2007年に上演されたシェイクスピアの舞台『シンペリン』ではローレンス・オリヴィエ賞最優秀新人賞を受賞。その翌年にも同じくシェイクスピア作の『オセロ』などに出演し、「シェイクスピア俳優」と呼んでも差し支えないほどの活躍を見せている。そのまま舞台上での輝きのみを追求する俳優人生、あるいはイギリス発の良質な映画やドラマで存在感を放つキャリアもあっただろうが、まもなく1本の映画がヒドルストンの運命を大きく変える。その1本こそが、『アベンジャーズ』シリーズの一端を担う『マイティ・ソー』だ。この『マイティ・ソー』を手掛けたケネス・ブラナーはイギリスの名優兼ベテラン演出家で、彼もまた数々のシェイクスピア作品を演じ、監督してきたキャリアの持ち主。そのブラナー自らヒドルストンをロキ役に抜擢したことも、「僕の俳優人生の中心にはずっと、シェイクスピアがあった」という発言に繋がっている気がする。

ロキ役でブレイクした後、ヒドルストンの活躍はワールドワイドに。役柄も多岐にわたるようになる。鬼オジム・ジャームッシュの『オンリー・ラヴァーズ・レフト・アライヴ』では、ミュージシャンとして活動する破滅的なヴァンパイアに。SF作家J・G・バラードの小説を映画化した『ハイ・ライズ』ではカオス的な状況に直面する主人公を演じ、現代における階級社会の風刺に乗り出した。また、'40年代アメリカのカントリー歌手に扮し、歌声を披露した『アイ・ソー・ザ・ライト』なる作品も。さらに、『キングコング: 髑髏島の巨神』では頼れる元兵士として活躍。ちなみに、シェイクスピアに関する前出の発言は『キングコング: 髑髏島の巨神』の際に口にしたものだが、同じインタビューで「もう、やりたい役をやり尽くしたのでは?」と訊ねた際には、笑いながらこんなことを言っていた。「まだまだ。やりたいことはもっともっとある。年齢を重ね、人生経験が豊かになったからこそ演じられる役もあるしね。演じるということには、可能性が備わっている。いろいろな感情を持って、いろいろな人物になれるんだ」

現在はさらなる“いろいろ”を求め、ロンドンで舞台に出演中。演目は、名劇作曲家ハロルド・ピンターの『背信』だ。不倫中の男女に女の夫を加えた3人の裏切り(背信)が交錯する物

## PROFILE

1981年、イギリス生まれ。ケンブリッジ大学在学中から俳優活動をはじめ、その後ドラマ『刑事ヴァランダー』などに出演。同作の主演俳優ケネス・ブラナーが監督を務める映画『マイティ・ソー』のロキ役でハリウッドに進出する。以降、ロキとして『アベンジャーズ』などに出演。そのほかの作品に『ゴールデン・グローブ賞主演男優賞』に輝いたドラマ『ナイト・マネジャー』、ロンドン・イブニング・スタンダード・シアター・アワード最優秀男優賞受賞の舞台『コロレリナス』などがある。

“Folk music, hillbilly, it's sincere. There ain't nothing phony. Man sings a sad song, he knows the sad.”

フォーク音楽やヒルビリー音楽は、魂の歌だ。  
ウソ、偽りが無い。  
悲しい曲を歌う奴は、悲しみを知っている。

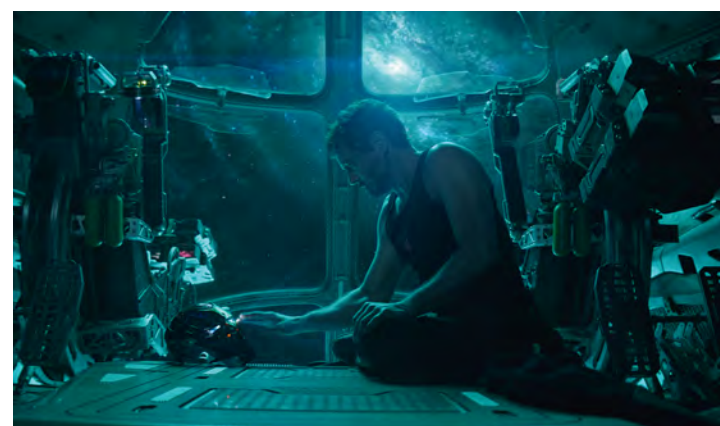
— 『アイ・ソー・ザ・ライト』から

写真= Bryce Duffy / Contour by Getty Images 文=渡邊ひかる  
photo: Bryce Duffy / Contour by Getty Images text: Hikaru Watanabe

語で、まさに「人生経験が豊かになったからこそ演じられる役」と言えそう。上演は6月までの予定だが、すでに絶賛評が上がってきている。さらに、“いろいろ”と同じくらい“もった”もヒドルストンの俳優人生におけるキーワードになっているのは明らかで、ロキの今後にも動きあり。彼を主人公にしたドラマシリーズの制作が昨年11月に発表された。これを受け、「ロキには伝えるべき物語がもっとある。やるべき悪戯がもっとある。まだまだある」とヒドルストンもコメント。ロキの“もった”を目にする日は、遅かれ早かれやって来そう。ただし、その前に『アベンジャーズ/エンドゲーム』の全貌を目にしておかなくてはならない。なぜなら、昨年公開された前作『アベンジャーズ/インフィニティ・ウォー』でロキは……。“もった”は、映画シリーズでも希望の言葉となり得ているのか。まずは、その確認からだ。

【トム・ヒドルストン】

『アベンジャーズ/エンドゲーム』



宇宙最強の敵サノスに屈したロキ(ヒドルストン)をはじめ、大勢の仲間を失ったヒーローチーム“アベンジャーズ”の面々。アイアンマン、キャプテン・アメリカから、残されたヒーローたちはサノスを倒し、世界平和を取り戻すことができるのか。宇宙の生き物の半数を消滅させ、新たな世界を作ろうとするサノスの思惑が、ヒーローたちに与える試練とは……?  
●4月26日より、全国ロードショー

©Marvel Studios 2019. All rights reserved.



TOM  
HIDDLESTON

in Your

# CLOSET\*

## 爽快感が肌で感じられるシアサッカーのシャツ。

新緑の眩しさに誘われ、どこかに出かけたくなる。それも気負うわけではなく、ぶらりと風に吹かれるように。そんな気分にあうのがこのブランドのシアサッカーシャツ。袖を通しただけで心は解放され、すでに旅にある。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=Hanjee 文=柴田 充 構成=大嶋慧子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN) hair&make-up: Hanjee(SIGNO)  
text: Mitsuru Shibata composition: Keiko Oshima



## SHIRT

### エルメネジルド ゼニアの “シアサッカーシャツ”

これからの季節にぴったりな生地がシアサッカー。シワも目立ちにくく、アイロンをかける手間も省ける。なにより波状の凹凸が独特の風合いを醸し出し、風が抜けるような清涼感を味わえるのがいい。最高峰の服地ブランドでもある〈エルメネジルド ゼニア〉の1枚は、コットンリネンにシボを施したものの。柔らかな肌触りの中にも張りが感じられ、上質感を損なうこともない。リラックスしたぶらり旅をさらに心地よく演出してくれそうだ。

シアサッカーシャツ4万4000円、パンツ8万円、シューズ5万9000円、ニット14万5000円、サングラス5万円  
(以上エルメネジルド ゼニア/ゼニア カスタマーサービス)、その他はスタイリスト私物

Ermenegildo Zegna / エルメネジルド ゼニア

in Your

## CLOSET\*

軽快さと快適性に、近づく夏を実感する。

気軽な1人旅には、爽快感漂うお洒落を楽しみたい。キーワードとなるのが軽さと快適。ひと足先のサンダルやパナマハット、極上の肌触りのカシミアやホワイトバッグもいい。いずれも夏を感じさせてくれる。



## CARDIGAN

ルシアン ペラフィネの  
“シルクカシミアのカーディガン”

## SANDALS

ロエベの“イビザ コレクション  
フラット サンダル”

## BACKPACK

ジミー チュウの  
“ワンマイルバックパック”

## HAT

ボルサリーノの  
“パナマハット”

D

旅先で身のまわりの小物を携行するには、こんなバックパックがいい。ドロコードで絞るシンプルなスタイルは、背負ってもトップハンドルで手揚げにしてもいい。涼しげなホワイトレザーに、マットブラックのスタースタッズをあしらったコンテンポラリーなデザインは、自由な旅気分にあふましい。

バッグ22万1000円、サングラス5万8000円(以上ジミーチュウ)

C

この時季、意外に重宝するのがカーディガン。風の強い日や肌寒くなった夕方など、軽く羽織れば快適でいられる。この1着はシルクとカシミアの混合。最高級の着心地が味わえるとともに、シンプルなデザインだからこそ上質な素材が際立つ。星形に縁取った胸のワンポイントもさりげない自己主張に。

カーディガン9万8000円(ルシアン ペラフィネ/ルシアン ペラフィネ 東京ミッドタウン店)、パンツ3万3000円(クルチアーニ/クルチアーニ 銀座店)、サングラス3万4000円(モスコット/モスコット トウキョウ)、奥のバッグはDと同じ、奥のハットはBと同じ、その他はスタイリスト私物

B

かつては紳士の嗜みだったパナマハットは、是非挑戦してみたいアイテム。実際に被ってみればスタイルだけでなく、日差しを避けた自然の涼しさが実感できる。エクアドルのモンテクリスティ産のトキヤ草を使い、熟練職人が3か月から半年かけて手編みする。見た目も涼しげな夏のダンディズムだ。

ハット30万円(ボルサリーノ/ボルサリーノ ジャパン)、カーディガンはCと同じ、その他はスタイリスト私物

A

スペインを代表するリゾートアイランド、イビザ島。そこにかつて存在した伝説のプティック“パウラズ イビザ”に着想を得たコレクション第3弾がこちら。リラックスした軽快感の中にも美しく編みこんだストラップがエレガンスを演出する。レザーの名門(ロエベ)が本領を發揮した大人のサンダル。

サンダル6万1000円(ロエベ/ロエベ ジャパン カスタマーサービス)、パンツはCと同じ

in Your

**CLOSET\*****名門〈チャーチ〉が手掛けた休日のスニーカー。**

慌ただしく過ぎる日々に、少し立ち止まってみるのもいい。街をゆっくり歩いてみればいつもの風景も違って見えるはずだ。スニーカーはまさかの〈チャーチ〉。老舗のシューメイカーもまた違った風景を見せる。

# SNEAKER

## チャーチの 新作スニーカー“CH873”

巷ではダッドスニーカーがもてはやされ、リアルタイムで愛用した世代の目にもそれは新鮮に映る。〈チャーチ〉の新作スニーカー“CH873”の名は、ブランド創業年の1873年に由来。その長い歴史とともに、ヒールにはユニオンジャックをあしらい、英国の伝統を誇示する。スウェードとナイロンを組み合わせたレトロなトリプルカラーも足元をスタイリッシュに彩る。少し遠くまで歩きたくなくなるに違いない。

シューズ7万3000円(チャーチ/チャーチ 表参道店)、パンツ7万5000円(クルチアーニ/クルチアーニ 銀座店)



in Your

## CLOSET\*

デジタルから離れたとき、真の豊かさを知る。

デジタルデトックスという言葉がある。スマートフォンやパソコンといったデジタルデバイスから距離を置き、自分と向き合う。読書や手紙をしたためるのもいいだろう。ともに過ごす逸品は、真の豊かさを教えてくれる。

## BOOK COVER

ダンヒルの“ブックカバー”



## KNIT PANTS

クルチアーニの  
“コットンニットパンツ”

## WATCH

ジャケ・ドロの  
“グラン セCOND アイボリーエナメル”

## CUP

ティファニーの  
“ペーパーカップポーンチャイナ”

D

幸運のシンボルである8の数字をモチーフに、時分針ダイヤルとラージセコンドを収める。文字盤は高温焼成のグランフーエナメルを採用し、手焼きのブルースチール針も美しく映える。時を忘れて見入ってしまいそうだ。ケース径43mm、自動巻き、RGケース、アリゲーターストラップ、3気圧防水。

腕時計213万円(ジャケ・ドロ／ジャケ・ドロ プティック銀座)、ジャケット、パンツはAと同じ、カップはBと同じ

C

書店でつけてくれるブックカバーは、本を大切にできる日本人独自の感性なのだとか。特に愛読書となれば、携行時はそれにふさわしいブックカバーで包みたい。こちらはしなやかな欧州産カーフレザーを使い、メタルはアーカイブをモチーフにする。手にした充足感はタブレットの電子書籍では得られない。

ブックカバー各9万7000円、ペン5万2000円(以上ダンヒル)

B

自宅で愛用するコーヒーカップにも遊び心が欲しい。(ティファニー)のカップは、世界のプティックだけで使われている紙カップに着想を得たもの。一見すると使い捨てのようだが、ポーンチャイナ製で口当たりも優しく、お馴染みのティファニーブルーが極上の味を醸し出す。ギフトにもおすすめ。

カップは2個セットで1万4500円(ティファニー／ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク)、ジャケットとポロシャツはAと同じ、ブックカバーとペンはCと同じ

A

誰にも邪魔されず、読みたかった本に没頭できる時間ほど贅沢なものはない。(クルチアーニ)のパンツはそんなリラックスタイムを演出してくれる。コットンニットをダブルフェイスで仕立て、ニットでありながら厚手の生地は上質な張り感が味わえる。適度にゆるいシルエットはカジュアルにもいい。

パンツ7万5000円、ニットジャケット11万3000円、ポロシャツ6万7000円(以上クルチアーニ／クルチアーニ 銀座店)、ブックカバーはCと同じ、腕時計はDと同じ

DIOR

爽快な淡いブルーの  
シャツブルゾンで遊んでみる。

ブルーという色は、濃紺に近づけば近づくほどフォーマル感が高まり、逆に淡色になればなるほど清々しさが増していく。そんな青のマジックを味方につけられるのが、このシャツブルゾン。シャープなカラーのような透け感のあるブルーに染まったボディは、生地に入ったストライプと相まって清涼感たっぷり。しかも、襟元はシャツを重ね着したように見えるデザイン。まわりから見ても驚きのディテールだが、それを楽しむのは自分。こんなアイテムを選ぶ遊び心があれば、休日はきっと楽しい。

2019年のメンズコレクションからアーティストディック・ディレクターに就任したキム・ジョーンズが手掛けた、注目の今シーズンの新作。ボディはゆったりとしたシルエットで、裾はパンツにタックインしてもキマる。ボタンは高級感のあるホーンボタンを採用している。シャツ襟付きブルゾン18万円、ショーツ参考商品、バッグ24万円、バッグに掛けたサングラス6万2000円(以上ディオール/クリスチャンディオール)



HERMÈS

安らぐ気持ちに寄り添うのは  
揺らぎを感じる柄ニット。

春の陽気の中でリラックスできる服とは、一体どんなものだろう。たとえば上質素材で品のあるニット。それも優しいナイエロー基調のボーダーニットなんてどうだろう。(エルメス)が手掛けたこの1着は、部分的に生地を溶かして透かし模様を施すオパール加工を採用しているのが特徴。水彩画のような揺らぎのある柄がなんともいえない表情を生み出し、よくあるボーダーとはひと味違うリラックス感を与えてくれる。肩の力を抜いて着られる一方、上品な色彩表現が魔法のよう。

さらりと着るだけで品よく見えるのは、ハイネックのサマーニットならではの。素肌の上にそのまま着れば、しなやかなコットンの心地よさを改めて実感できるはず。そんなニットは、白を基調にした着こなしで夏を先取りするのも面白い。優雅な印象の白ハットとタック入りのゆったりとした純白ショーツで、ニットの繊細かつ美しい色彩を引き立てたい。ニット19万3000円、ショーツ9万4000円、プレスレット6万1000円、ハット8万円(以上エルメス/エルメスジャパン)

優しい色使いなら身も心もすっきり。  
週末のお出かけは  
リラックスを誘う服。

今どき「24時間戦えますか?」なんてのは時代遅れ。でも、やることはきちんとやるのがデキるビジネスマン。ときには疲れることだってある。そんなときは週末で気分をリフレッシュ。優しい色の服を纏って、心のスイッチをリラックスモードへと切り替えてみよう。春のうらかな陽気を背に、きっと開放的な気分になれるはず。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=Hanjee 文=遠藤 匠 構成=大嶋 隼子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (Ca.N) hair&make-up: Hanjee(SIGNO)  
text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima



白シャツ姿にスカーフを1枚。  
お洒落に余裕が生まれる。

初夏を思わせるような晴れた日には、柔らかなコットンの白シャツも気持ちがいい。そして、そんな白シャツ姿によりリラックス感をプラスしたいなら、ゆるいスカーフをふわり。そんなお洒落心が気持ちを前向きにしてくれる。それがピンクのペイズリー柄スカーフなら、それだけで印象はほんのり華やかになる。スカーフという男にとってハードルが高い感じもあるが、実際に使ってみると新しい自分を発見するきっかけになることもある。あとは慣れてしまえばいいことだ。

羽根のように軽いコットン仕立てのスカーフは、真四角ではないダイヤモンドシェイプが特徴。写真のように無造作にかけてもサマになる。総柄とはいえ、純白な地色に発色を抑えた濃いピンクを効かせているので、ワル目立ちせず印象はカジュアルで上品。スカーフ5万5000円、シャツ7万2000円(以上ブリーオーニ/ブリーオーニジャパン)、その他はスタイリスト私物

BRIONI

DUNHILL

空色のレザーシャツで  
贅沢な気分になる休日。

レザーシャツというどうしても男くさいイメージが湧くが、こんな爽やかでしっとり落ち着いた空色なら話は別。この〈ダンヒル〉の新作は、エアフォースブルーと呼ばれる晴れやかな空のような配色が新鮮。しかも、ボディはしなやかなカーブスキンで仕立てられている。その優しい着心地のおかげもあって、週末ドライブの爽快感もひとしお。しかもフィット感がかつてのようなビタビタではなく、楽に着られるもの。週末気分にしっくりくるのは、実はこんなレザーなのかもしれない。

ボディはダブルフェイスのレザー製。ほどよい張りがあるので、リラックスしたビッグシルエットを描ける。サイズアップした胸のパッチポケットが、男らしさを感じさせるディテールに。クリーンな印象を与えるシルバーのスナップボタンで着脱もカンタンに行える。レザーシャツ47万円、Tシャツ3万1000円、パンツ3万9000円、シューズ10万4000円、サングラス8万円、肩にかけたコート5万5000円(以上ダンヒル)



### ORDER SUIT

[オーダースーツ]

都会的ながらたくましさも感じさせるほどよい構築感のスリムスーツ。

細身のスーツほど、実は仕立ての技術力が問われるもの。ただピタピタなだけのスーツと、ボディラインを美しく見せられるスーツは全くの別物だ。その意味でいえば、このスーツはまさに後者。〈ジョルジオ アルマーニ〉では、“スリムフィット シルエット”に位置づけられ、ごく薄い肩パッドの入ったストレートショルダーで精悍さを強調している。MTOに加え、ミリ単位までの調整が可能な“MTM(メイド トゥ メジャー)”で仕立てることも可能。

着丈を短めに設定した、コンパクトなシルエットが特徴。これは、端正かつ好印象なウインドウペーン柄で仕立てた1着。MTMでは、400種類以上も選択肢のある生地の中から、自分好みを選ぶことが可能。黒や紺でも、実に多彩な素材感や光沢が用意されている。ストレッチをさせた生地で、さらなる楽さを追い求めることも。スーツ(MTM価格)36万5000円～、シャツ(MTM価格)7万2000円～、ネクタイ(MTM価格)4万3000円～、チーフ(MTM価格)2万6000円～(以上ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)



GIORGIO ARMANI  
MADE TO MEASURE

## GIORGIO ARMANI

〈ジョルジオ アルマーニ〉のオーダーが最高峰なのは、  
**上質素材と仕立てに加え  
見た目以上に“楽”だから。**

〈ジョルジオ アルマーニ〉のオーダーメイドには、世界最高峰の称号が与えられている。ジャケットの素材や仕立ての上質さは、まさにカラダにピタリとフィットし、それは体験した者にしか味わえない。その期待以上の着心地のよさと楽さが、短い納期で手に入る点もこのブランドの魅力だ。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク= Hanjee  
文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN)  
hair&make-up: Hanjee(SIGNO) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

### ORDER JACKET

[オーダージャケット]

テイラードのイメージをよい意味で裏切るカーディガン感覚の着心地。

本国イタリアで縫製を行う自分仕様の1着を、わずか約1カ月で仕立てられる“MTO(メイド トゥ オーダー)”。そのための特別なモデルとして登場したのが、このジャケット。肩パッドや構築感を出すための芯地を一切使っておらず、まるでカーディガンを羽織っているかのような着用感が味わえる。丸みを帯びたナチュラルショルダーが力みのない装いを演出し、柔らかなドレープは肌触りのよさの証。この快適さを知ったら、もう後戻りはできない。

パッドや芯地に頼らず、カラダのラインをきれいにさせるシルエットに加えパターンと縫製の技術は、まさしく〈ジョルジオ アルマーニ〉の真骨頂。MTOではスーツにも対応していて、ベストセラーの“スリムフィット シルエット”とコンフォートを重視した“クラシック シルエット”の2タイプを用意。既製品+約10%というプライス設定も魅力。ジャケット(MTO価格)26万円～、シャツ(MTO価格)5万4000円～、パンツ12万5000円、シューズ9万4000円、ハット7万2000円(以上ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

# GIORGIO ARMANI

## 〈ジョルジオ アルマーニ〉のビジネスアイテムは 大人の品格魅せに抜きなし。

ビジネスシーンでさりげなく自分を印象づけるのに、小物はとても有効。足元やVゾーンに品格と彩りを添えることで、目のきく男をアピールすることができる。〈ジョルジオ アルマーニ〉の新作はまさにお誂え向きだ。

写真=野口貴司 スタyling=中川原 寛 ヘア&メイク=Hanjee 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子  
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN) hair&make-up: Hanjee(SIG.NO)  
text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima



C A



D B



**D**  
切り替えによるごまかしのきかないプレートウは、革自体の質の高さや吊りこみの美しさを印象づけるにはうってつけ。足元を引き締める1足としても優秀だ。しかもこれはフォーマル色が和らぐ外羽根なので、ほどよく力の抜けた雰囲気。少し丸みを帯びた形は、パンツのシルエットも選ばない。

足に吸いつくようにフィットする形が秀逸。張り出したコバは、男らしさも十分。シューズ12万円(ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)、スーツはAと同じ

**C**  
ジャケットの内ポケットから取り出す財布も、スーツの印象を左右する重要なアクセサリの1つ。ヌードカラーのカーフ製財布は、革の上質さを物語るシボがぐっと際立つ。札束が収まるたっぷりとしたマチ幅があり、複数のカードの収納も可能。あらゆるシーンを考えたエグゼクティブ仕様。

16枚のカード入れと5カ所の大スリットが備わる実用的な設計。財布7万8000円(ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)、スーツ、シャツ、ネクタイはAと同じ

**B**  
格調高いスーツにバッグが馴染まないと、着こなし全体に違和感が出てしまう。それを避けるには、こんな上質なカーフレザー製ブリーフケースを選ぶといい。バックルを表に見せないミニマルな仕立ては実にモダン。美しいシボを引き立て、スーツの装いを一段上のステージに引き上げてくれる。

ショルダーストラップ付属のブリーフケース31万円(ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)、スーツとシャツはAと同じ。腕時計はスタイリスト私物

**A**  
Vゾーンにこれみよがしにならない格上感をもたらしてくれるのが、ブランドを印象づける総柄プリントタイ。"G"と"A"を融合したお馴染みの小紋風口ゴではなく、アーカイブから着想を得た柄がさりげなく今とき感を醸す。ブルーグレーの中間的な配色は、スーツの色を問わず好感度を高めてくれる。

ポケットチーフも共柄で、統一感を。スーツ34万円、シャツ6万7000円、ネクタイ2万5000円、チーフ1万8000円(以上ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

# CARTIER

革新を重ねる〈カルティエ〉なら  
精悍なクロノグラフも  
すっきり品よくエレガント。

ビジネスシーンで使う時計の選択肢も広がってきた。とはいえ、上質なジャケット姿で臨むシーンを考えると、上品でエレガントな時計がいいに決まっている。それは男性に人気のクロノグラフでもそう。その点〈カルティエ〉の新作はクロノグラフでも印象すっきり。ニーズをちゃんと知っている。

写真=池田佳史 スタイルング=中川原 寛 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子  
photo: Yoshifumi Ikeda(BOIL) styling: Kan Nakagawara(CaNN)  
text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima



## SANTOS DE CARTIER CHRONOGRAPH WATCH

[サントスドゥ カルティエ クロノグラフ ウォッチ]

小さく薄いケースや細めのローマンインデックス、パール状の飾り付きリュウズは、初代から継承してきた意匠。プレスレットは、道具を使わず交換可能な“クイックスイッチ”インターチェンジブル仕様。ラバーのストラップが付属。ケースサイズ51.3×43.3mm、自動巻き、YG+SSケース&プレス。145万円(カルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター)、サンダラス22万8000円(カルティエ/ケリング アイウエア ジャパン カスタマーサービス)

**飛** 行家が操縦桿から手を離さずに時刻を確認できるよう、懐中時計の代わりに開発された“サントスドゥ カルティエ”。1904年の誕生以来そのパイオニア精神のもと、性能面を常にアップデート。同時に、見た目も極めてエレガントに進化を遂げてきた。そのスタイルを受け継ぐのが、ここで

ご紹介する最新のクロノグラフ。サントス氏が掲げたチャレンジの中でも主要であったのが“スピード”。この時計は、9時位置にスタート/ストップ操作を行うためのストップウォッチのプッシュボタンを採用。リセット操作はリュウズを押しこむことで行える。ちなみに、一般的なクロノグラフは2時位置にスタート/スト

ップ、4時位置にリセットボタンを備え、リュウズも張り出しているものが多い。それと比べ、この時計はケースまわりをすっきりとさせ、洗練された印象に。そんな美意識の高さは、傍目からも、この時計を選んだ人にも感じられることに。当然ビジネスシーンでも有効なツールになってくれるのは間違いない。



9時位置のプッシュボタンは、張り出しを抑えたデザインに。手首に当たる不快感がなく、操作性も高い。リュウズとは逆側にあるので、クロノグラフにありがちな武骨さも緩和

## CHANEL

## 〈シャネル〉“J12”の新作はなにが変わったのか？ なにも変えず、すべてを変えた アイコンとしての正しき進化。

2000年に誕生した〈シャネル〉“J12”が、初のフルリニューアルを敢行。セラミックを広く浸透させた〈シャネル〉の、そして時計界のアイコンは、オリジナルのスタイルをキープしながら、全く新しく生まれ変わった。

文=高木教雄 text: Norio Takagi



BLACK Version

### CHANEL J12

[シャネル J12]

ブラックとホワイトを同じデザインコードで刷新。コマが長くなったブレスレットは装着感に優れ、伸びやかで上品な印象に。ベゼル外周のノッチの数も10個増えている。6月5日発売。ケース径38mm、自動巻き、高耐久性セラミックケース&ブレス。各63万2500円(以上シャネル)



WHITE Version

## The J12 watch changes everything, without changing anything.

### 時

計好きなら左の写真を見て、これが〈シャネル〉J12だとわかるはず。でもフルモデルチェンジされた新作だと気づける人は、きっと少ないだろう。なにしろデザインを手掛けたアルノー シャスタンは「オリジナルからなにも変えない」ことを目指したのだから。でも実際には、「すべてを変えた」とも彼は語る。なにも変えず、すべてを変えた。まるで禅問答みたいだ。「見た目を全く変えるという選択肢も、私にはあった。しかし〈シャネル〉のアイコンとなったオリジナルのJ12を尊重し、新たなミューズとすることを私は選んだのです。それは一からデザインを起こす

ったりとした表情にもなっている。ブラックモデルの針の夜光塗料はブラックに変更。それがスケルトン針のように見え、ヌケ感が出ている。ブレスレットのコマも長く薄く仕立て直されている。「ケースはモノブロック構造とし、裏側までセラミックに。そして中央をサファイアクリスタルとし、新型ムーブメント、キャリバー 12.1を見せています」この新しいムーブメントが今回のリニューアルの目玉の1つ。昨年〈シャネル〉が出資を決めたムーブメント会社ケニッシ社製の自動巻きで、70時間のパワーリザーブとCOSC取得の高精度を誇る。円と半円を組み合わせたローターのデザイ

よりも、遥かに難しい作業でした」

時計に限らず、アイコンと呼ばれる傑作は、ひと目でそれとわかるスタイルを持つ。そしてそれを保ったまま、時代に合わせた進化を果たすものもある。〈ボルシェ〉911がその好例だ。シャスタンはなにも変えなかったのは、オリジナルのJ12が持つスポーツウォッチとしてのピュアで伝統的なスタイル。逆回転防止ベゼルやリュウズガード、立体的なケース、つけ心地がいいブレスレット、メリハリがきいた見やすいダイヤルなどだ。

「J12の本質を完全に理解するために毎日身につけ、また構成するデザイン要素のすべてを分解して1つずつ解析しました。そして各ディテールを慎重に手直しし、組み合わせて検討しながら微調整を何度も何度も繰り返したのです。その作業は結果的に、4年にも及びました」

オリジナルのJ12は、特にブラックはマスキュリンな雰囲気だった。ところが新生J12は見た目には変わっていないのに、どこかエレガントでジェンダーレスな印象になった気がする。そこがシャスタンのデザインの妙。ベゼルのスリムにし、リュウズも小さくしたことで、旧作の力強さを少し和らげているのだ。細身のベゼルになったことで、ダイヤルが広がりゆ

んはいかにも〈シャネル〉らしい。

「2000年、デザイン学校の学生だった私は、発表されたJ12を見て衝撃を受け、時計デザイナーになることを決意しました。J12は、常に私のクリエイションのお手本でした。今の職業に導いてくれたモデルと、私は対峙したわけです」

そしてシャスタンは、オリジナルのDNAを完璧にキープしながら、すべてを変え、J12はよりコンテンポラリーでエレガントに生まれ変わった。



Arnaud Chastaingt

[アルノー シャスタント]

シャネル ウォッチメイキング クリエイションスタジオ ディレクター。応用美術とプロダクトデザインを学んだ後、〈カルティエ〉で10年間時計デザイナーを務めた。2013年〈シャネル〉に入社。新作時計の数々を手掛ける。



右:ケース厚は1mm増したが、裏蓋側の外周を絞り、横顔はスリムに仕立てた 左:シースルーバックに新型キャリバー 12.1の姿を見せる。ローターは比重が高いタンゲステン製で巻き上げ効率にも優れる。仕上げも美しい

Have a Fabulous Time!

# FIRST CLASS LOUNGE

くつろぎすぎてフライトに乗り遅れないようご注意を。

国際線フライトのチェックインを済ませてから搭乗まで。あるいは、乗り継ぎで降りた空港で。“待ち時間”ではなく、“楽しい時間”が待っている。

写真・文=たかせ藍沙  
photo&text: Aisha Takase

American Airlines / アメリカン航空  
Japan Airlines / 日本航空  
Cathay Pacific Airways / キャセイパシフィック航空



広々としたFlagshipファーストラウンジ。インテリアも秀逸

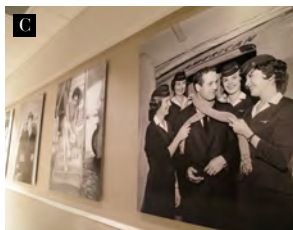
**フ**ァーストクラスに乗るなら、その前にファーストクラスラウンジも楽しみたいもの。ただ、すべての空港にファーストクラス専用ラウンジがあるわけではない。ビジネスクラスと兼用ということも多いし、複数の航空会社合同のラウンジもある。そのぶん、独立しているファーストクラスラウンジには最高峰のサービスが待っ

ているのだ。近年では、自社のファーストクラス搭乗客と、提携航空会社のファーストクラス搭乗客やマイレージ上級会員とで施設を分けている航空会社もある。今回ご紹介するアメリカン航空もその1つ。ラウンジ内に独立したダイニングを作った。日本航空の改装したのラウンジ、キャセイパシフィック航空の個性的なラウンジとともにご紹介しよう。

## AMERICAN AIRLINES

【アメリカン航空】

ロサンゼルス国際空港とニューヨークのジョン・F・ケネディ国際空港、マイアミ国際空港にあるのは、“Flagshipファーストダイニング”。Flagshipファーストラウンジ内で、アメリカン航空のファーストクラス搭乗客だけが利用できるダイニングエリアだ。ここだけは、飲み物も料理もメニューから選んでオーダーするスタイル。他空港にも新設予定があるので、出発前に確認しておきたい。



A: Flagshipファーストダイニングはメニューから料理を選んでオーダーするスタイル B: バーコーナーからは、ガラス越しにターミナル内を眺めることができる。ここで提供されるシャンパンの銘柄は(クリュグ) C: Flagshipファーストダイニングへと続く廊下には、往年のハリウッドスターたちがアメリカン航空に搭乗する写真がずらりと飾られている



## JAPAN AIRLINES

【日本航空】

日本航空のファーストクラスラウンジは、成田国際空港第2ターミナル本館の3Fと4F。現在全面改装中で、4月1日に4F部分がダイニングエリアとして先行オープンした。(JAL's Table)では人気ラーメン店とコラボしたラーメンを提供。食事は従来のビュッフェに加え、ラウンジスタッフが取り分けるスタイルも導入。(鶴亭)には本格的な能カウンターが新設された。



A: (鶴亭)は風鈴をイメージした照明が趣ある和の空間 B: 隣(JAL's Table)の新メニューは(AFURI(阿夫利))とコラボした柚子塩らーめん(手前)と、JAL特製豚骨ラーメン C: 能ネタは週替わり D: (ジョン・ロブ)のシューシャインは、階下の工事中はダイニングエリアと同じフロアで

## CATHAY PACIFIC AIRWAYS

【キャセイパシフィック航空】

香港にはキャセイパシフィック航空のファーストクラスラウンジが2つある。1~4番ゲート近くの“ザ・ウイング”と63番ゲート近くの“ザ・ピア”だ。前者にはバスタブとシャワー、ティベッドがある個室が5室とシャンパンバーがあり、後者には仮眠もできる8室の個室がある。今年1月には“ザ・ピア”ビジネスクラスラウンジにヨガスペースがオープン。フライト前に心身を整えることができるようになった。



A: “ザ・ウイング”では、フルサイズのバスタブでリラックスすることができる B: ラウンジ内ではシャンパン以外にも、豊富な種類の飲み物が用意されている C: 吹き抜けが開放的な造りの“ザ・ウイング”のファーストクラスラウンジ



## Paul Smith UNDERWEAR

高機能素材が心地いい(ポール・スミス アンダーウェア)のポロとショーツは

# リゾート着としてはもちろん 旅先のルームウェアにもぴったり。

リゾートホテル内で過ごすときは、なにより快適なウェアが必要。プールに向かうとき、あるいはビーチサイドのカフェで日差しを楽しむひととき。そこでは快適素材のポロシャツとショーツがきっと役に立ちます。

写真=大嶽恵一 スタイリング=中川原 寛 文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子  
photo: Keiichi Otake(BOLL) styling: Kan Nakagawara(Ca.NN) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

### TRAVEL POLO & SHORTS

[トラベル ポロ&ショーツ]

コットンとポリエステル糸をメッシュ状に編んだ素材は機能性とともに快適な着心地も実現。抗菌防臭加工が施されており、汗による臭いを気にならない。是非リゾートのお供に。ポロシャツ6300円(LLサイズ6800円)、ショーツ6300円(LLサイズ6800円) (以上ポール・スミス アンダーウェア/ポール・スミス リミテッド)、その他はスタイリスト私物。全国百貨店紳士肌着売り場で展開

ほどよくきちんと感があって着心地爽やかな、理想のバカンス服を。

高級リゾートホテルで意外と困るのが、ホテル内で過ごす服。短パンにTシャツでもこと足りるが、ラフすぎるとお洒落な見た目は遠のくばかり。もちろん快適さも無視できない。そんなときに役立つのが(ポール・スミス アンダー

ウェア)のポロシャツとショーツ。吸水速乾性に富む素材は、南国でもさらりとした着感。それに襟付きなのできちんと感があり、シワが付きにくい点も嬉しい。これならプールやカフェに行けるし部屋着としても申し分ない。

# THEORY

洗練と知性が同居する〈セオリー〉。

## 都市への出張で頼れるのは NY流快適セットアップ。

スーツでの飛行機やタクシーの移動が楽だと、次の仕事にも余裕が生まれる。そんなときに必要なのがNY生まれの〈セオリー〉が手掛けたセットアップ。伸縮性に富んだジャージの抜群の快適さが、ビジネスの成功を約束してくれる。

写真=野口貴司 スタイルリング=中川原 寛 ヘア&メイク= Hanjee

文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子

photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN)

hair&make-up: Hanjee(SIGNO) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

### ビジネス対応も可能にする 快適さが魅力の新感覚セットアップ。

街並みに映える2ボタンのジャケットは、ゴージャインがやや高めめでクリーンな雰囲気。夏でも快適な背抜き仕様なので、着心地は羽織りもののように軽やかだ。しかも、鹿の子風に編んだ生地は薄手で柔らか。ストレッチ性もしっかり備わっている。飛行機やタクシーでの移動中に締めつけを感じさせない点は、出張の装いとしても完璧というわけだ。

共布のパンツは、膝下にほどよい絞りをきかせたテイバードシルエット。センタープレスが入っているので、ジャージ素材であることを感じさせないすっきり感がある。ジャケットを袖捲りしてこなれを出してもサマになるのも、ストレッチのきいた素材ならではの。ジャケット4万6000円、ニット1万6000円、中に着たTシャツ9000円、パンツ2万6000円、シューズ2万9000円(以上セオリー/リンク・セオリー・ジャパン)、その他はスタイリスト私物



綿とポリエステル  
の混紡糸を用いた鹿  
の子編みは、清涼感  
のある肌触りで、伸  
縮性抜群の作りに



IWC

## エグゼクティブを魅了し続ける〈IWC〉“ポルトギーゼ・クロノグラフ”。 知性ある大人は手元にブルーの品格を宿す。

名作時計は、時によって磨きがかかれ、やがて時を超える存在になる。その証左が“ポルトギーゼ”。1939年に誕生し、〈IWC〉の現行ラインナップでも最長の歴史を誇る。先進性が根ざす機能美とブルーのあしらいは、現代の男の腕を凛々しく飾ってくれる。

写真=池田佳史 スタイリング=中川原 寛 文=柴田 充 構成=大嶋慧子  
photo: Yoshifumi Ikeda(BOIL) styling: Kan Nakagawara(CaNN) text: Mitsuru Shibata composition: Keiko Oshima



### PORTUGIESE CHRONOGRAPH

[ポルトギーゼ・クロノグラフ]

クロノグラフは1998年登場以来、洗練を重ねる。美しいリーフ針とアブライトの数字インデックスは、無反射コーティングのドーム型サファイアガラスにより、どんな光の環境でも美しく文字盤を見せる。ともに青の美しさで魅了する。ケース径40.9mm、自動巻き、SSケース、アリゲーターストラップ、3気圧防水。各75万5000円(以上IWC)、万年筆10万8000円、手帳5000円(以上モンブラン/モンブラン コンタクトセンター)

時

の針を少し80年ほど戻してみよう。2人のポルトガル人時計商が〈IWC〉の門戸を叩いた。目的は、海軍将校の注文によりマリンクロノメーター級の精度を持つ腕時計の製作を依頼するため。だが当時それだけ高精度な小型ムーブメントはなかった。そこで懐中時計用を流用し、1本の時計

を作り上げたのだった。

しかし問題は、そのサイズとデザイン。アールデコ全盛期、男性も女性と同じく小ぶりで装飾的な時計をつけたのに対し、大径ケースに高い精度を最大限に生かすため、文字盤は視認性を追求し、シンプルを極めた。だがそんな異端も誇りとし、“ポルトギーゼ”と命名されたのだ。

その矜持は現在も受け継がれ、パウハウスに通じる機能美や先進性は色褪せるどころか、さらに男たちを魅了する。ベゼル幅を抑え、全面に広げた美しいブルーとホワイトの文字盤からは知性が漂い、クロノグラフの躍動感を併せ持つ。そこに宿るのは、いつまでも変わらない男の情熱と品格なのである。

Amazing Stay!

# URBAN GLAMPING\*

都会のと真ん中でキャンプ気分を味わう。

アーバンとグランピング。ある意味、真逆なファクターだが、これを合体させたら意外な化学反応が！  
都会で見る星空のようなネオンのきらめき、スカイスクレイパーを赤く染める夜明け。街の鼓動が伝わってくる。

文＝古関千恵子 text : Chieko Koseki

## 01/ BEVERLY WILSHIRE, A FOUR SEASONS HOTEL



【ビバリー・ウィルシャー、ア・フォーシーズンズホテル】

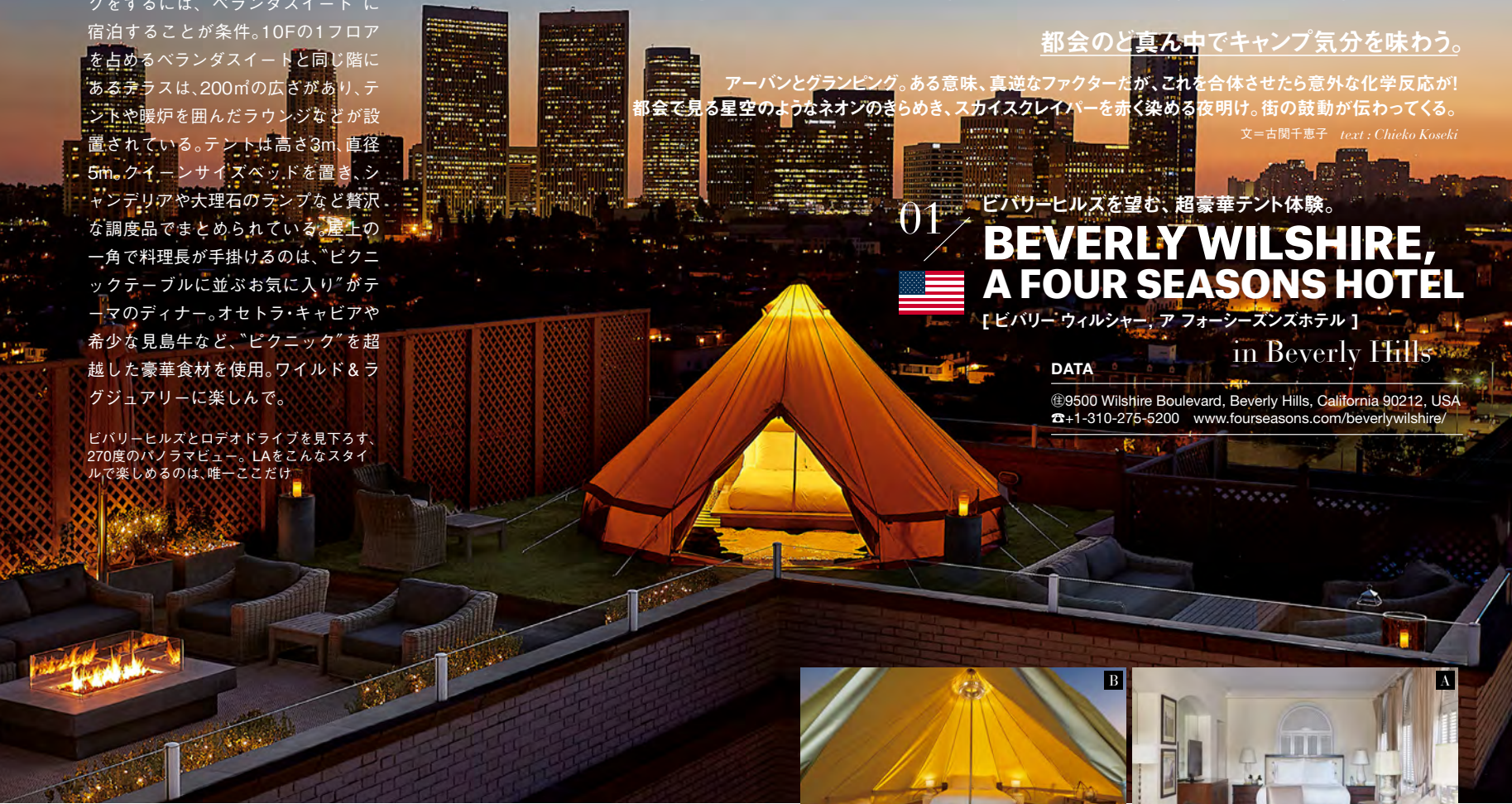
in Beverly Hills

DATA

©9500 Wilshire Boulevard, Beverly Hills, California 90212, USA  
☎+1-310-275-5200 www.fourseasons.com/beverlywilshire/

**セ** レブ御用達ホテルが90周年記念に企画したイベントが今年も継続。グランピングをするには、“ベランダスイート”に宿泊することが条件。10Fの1フロアを占めるベランダスイートと同じ階にあるテラスは、200㎡の広さがあり、テントや暖炉を囲んだラウンジなどが設置されている。テントは高さ3m、直径5m。クイーンサイズベッドを置き、シャンデリアや大理石のランプなど贅沢な調度品でまとめられている。露上の一隅で料理長が手掛けるのは、“ピクニックテーブルに並ぶお気に入り”がテーマのディナー。オセトラ・キャビアや希少な見鳥牛など、“ピクニック”を超越した豪華食材を使用。ワイルド&ラグジュアリーに楽しんで。

ビバリーヒルズとロデオドライブを見下ろす、270度のパノラマビュー。LAをこんなスタイルで楽しめるのは、唯一ここだけ



A: グランピング体験ができるのは、“ベランダスイート”のゲストのみ。テントに泊まらずに10Fの1ベッドルームに滞在してもOK B: 上質なリネンのベッドに、クリスタルのシャンデリアや毛皮のラグの豪華なテント内

## 03/ COLLECTIVE GOVERNORS ISLAND



自由の女神を眺めながらBBQ。

【コレクティブ ガバナーズ アイランド】 in New York

DATA

©Craig Rd N, Governors Island, New York, USA  
☎+1-970-445-2033  
www.collectiveretreats.com/

港越しにNYを望む立地。夜はキャンプファイヤーやムービーナイトを、公園の閉園中休憩地外へ出ることできない  
© courtesy of Collective Retreats



**口** ウーマンハッタンからフェリーに乗ること約10分。ガバナーズアイランドの丘に広がるキャンプサイト。眺めが素晴らしく、ニューヨーク港越しに自由の女神が！ 3タイプのテントがあり、おすすめは“サミットテント”。1500番糸のリネンにレインスタイルのシャワー、バスロブなど豪華仕様。“BBQ・イン・ア・ボックス”を頼むすれば、食材やテーブルをセットアップ、あとは焼くだけ。



約30㎡のフローリングのテントにキングベッドまたはシングル2台を設置。バスルームも広々

## 02/ THE GWEN, A LUXURY COLLECTION HOTEL, MICHIGAN AVENUE



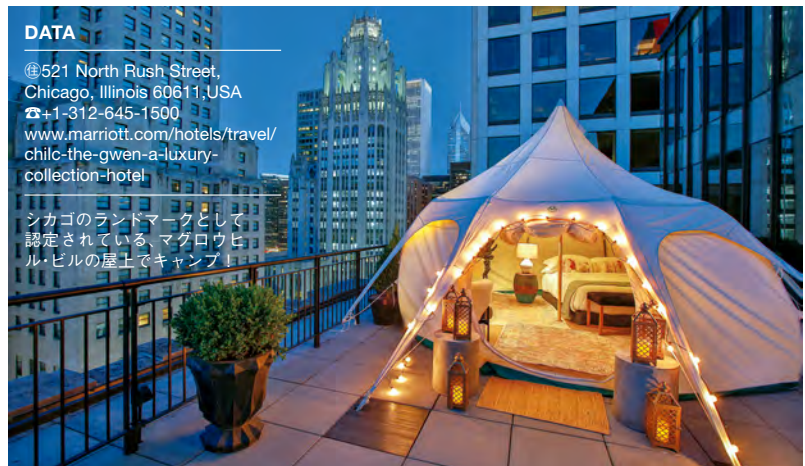
シカゴのランドマーク的ビルで極上キャンプ。

【グウェン、ラグジュアリーコレクションホテル、ミシガンアヴェニュー】

DATA

©521 North Rush Street, Chicago, Illinois 60611, USA  
☎+1-312-645-1500  
www.marriott.com/hotels/travel/chic-the-gwen-a-luxury-collection-hotel

シカゴのランドマークとして認定されている、マクローヒル・ビルの上でキャンプ！



**マ** グロウヒル・ビル16F。ミシガンアヴェニューを見下ろすグウェン・ラックス・スイートのテラスでキャンプ。92㎡のテラスに直径約5mのロータスベルテントを設置。マクラメ編みのクッションや麻のラグなど、ボヘミアン調でまとめられた空間。ベッドはこのホテルブランドのためにデザインされた黒真珠使用の豪華版。空港送迎など“エリートアンバサダーサービス”が受けられる。



ロータスベルテント内の一番の自慢は、豪華なベッド！ 6人までキャンプ体験ができる

Beverly Wilshire, A Four Seasons Hotel The Gwen, a Luxury Collection Hotel, Michigan Avenue Collective Governors Island


 Gastronomic City  
**BILBAO\***
**世界の美食家たちが足繁く通う都市、ビルバオの最新レストラン事情。**

昨年、「世界ベストレストラン50」のアワードが開催されたこともあり、スペイン・バスク地方のビルバオ周辺が、美食のエリアとして熱い視線が注がれている。筆者が実際訪れたオスメの3店舗をご紹介します。ビルバオのレストランの魅力を探る。

取材・文＝中村孝則 Text：Takanori Nakamura

Asador Etxebarri / アサドル・エチェバリ La Viña del Ensanche / ラビーニャ・デル・エンサンチェ Azurmendi / アスルメンディ

**今** 「美味しい街はどこか」と問われたら、間違いなく筆頭の1つに挙げるのが、スペインはバスク地方のビルバオだろう。バスクといえば、日本ではサンセバスチャンがよく知られているが、ビルバオも負けずとも劣らぬほど、美食の魅力にあふれているのだ。昨年の6月に、筆者が日本評議委員長を務める「世界ベストレストラン50」(以下ワールド50)の2018年のアワードが、ビルバオで初開催されたこともあり、この街の美食事情が徐々に知られるようになったが、まだまだ穴場的な存在とっていいだろう。

そもそもビルバオという街は、周辺で鉄鉱石が採掘されたこともあり、1960年代から'70年代にかけて重工業で目覚ましい発展を遂げたバスク地方の中心都市であった。しかし'70年代から'80年代にかけて工業都市としての産業基盤が衰退し、街の活気は失われつつあった。そんな状況に一石を投じるべく、ビルバオでは'90年代以降に文化芸術の振興による都市再生プロジェクトが敢行された。食文化もその計画に含まれ、レストランを支援するいろいろな取り組みが自治体を中心に推進されてきた。件のワールド50のアワード誘致もその一貫で、いまやビルバオは「美食の都」として世界中から注目されはじめています。

ファインダイニングから伝統的な家庭料理のお店、あるいはタバスを出すバルまで幅広いバリエーションを誇るのがビルバオの美食の特徴。その中で、今回はワールド50で10位にランクインした〈アサドル・エチェバリ〉と、同じく43位の〈アスルメンディ〉と、ちょっと毛色は違うが街中の超人気バル〈ラビーニャ・デル・エンサンチェ〉の3店舗をご紹介します。それぞれ、料理に対するアプローチやお店のキャラクターが全く異なるが、いずれもバスク地方の豊かな自然環境を背景にした海の幸や山の幸、あるいは伝統的な生ハムなど、ここでしか味わえない美食を体験することができるはずだ。欧州へ渡航の予定があるのなら、是非ともビルバオまで足を伸ばして、美食の寄り道をしてほしいと思う。



取材・文 中村孝則 美食評論家

1964年神奈川県葉山生まれ。ファッションからカルチャー、美食などをテーマに新聞や雑誌、テレビで活動中。主な著書に『名店レシピの巡礼修業』（世界文化社）がある。2013年より「世界ベストレストラン50」の日本評議委員長も務める。さらに、グラナバダーノとバルマハムの親善大使に任命されている。



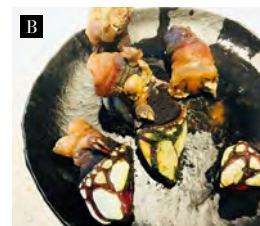
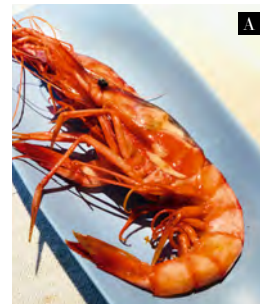
30日熟成させたガリシア牛のリブローズ。熾火で外側はカリッと、中はじっくり焼かれる

**Asador Etxebarri**

【アサドル・エチェバリ】

薪の熾火（おきび）を使った原始的な美味しさに目覚める。

ビルバオ郊外の山の中にある一軒家レストラン。シェフのビクトル・アルギンソニスは、分子料理といった技法や最新の調理器具をほとんど使わず、薪の熾火という原始的な調理法だけで料理する。昨今のガストロノミーとは対極のレストランともいえるが、その美味しさはスプویلされかけた私たちの味覚や五感に衝撃を与えるはずだ。



A：熾火で調理されたパラマ産の新鮮な赤エビは、旨みがとろけて得もいぬ風味だ B：地元でも珍味の亀の手。サザエのような食感 C：店内は瀟洒な山小屋といった風情。ビルバオからはクルマで1時間ほどの郊外にある

**DATA**

④ San Juan Plaza, 1, 48291 Atxondo, Bizkaia, Spain ☎ +34-946-58-30-42


**Azurmendi**

【アスルメンディ】

郊外のモダン建築で体感する洗練されたバスク料理。

ガラス張りの店内からは、自家製菜園やワイナリーが一望でき、お洒落にビクニック気分が楽しめる。シェフのエネコ・アチャ・アスルメンディの料理は、アイデアと美意識にあふれ楽しい。そのスペシャリティの一部は、東京の姉妹店〈エネコ東京〉でも味わえる。

**DATA**

④ Legina Auzoa, s/n, 48195 Larrabetzu, Bizkaia, Spain ☎ +34-944-55-83-59



A：名物の「バスク風キノコ」。エリンギを細切りにして煮こみ、パスタ風に仕上げた逸品 B：「有機卵とトリュフ」は卵黄の中にトリュフを閉じこめ、口の中で旨みが爆発する仕掛け

**La Viña del Ensanche**

【ラビーニャ・デル・エンサンチェ】

地元民たちに愛される超人気のバル。

ビルバオ最古のバルの1つで、重厚な雰囲気もいい。日中から閉店まで、客が絶えない人気店で、タバスを中心にした豊富な品揃えもさることながら、どれも舌を巻くほど美味しい。ワインやビールも、1杯2ユーロ以下からと手頃。1杯とタバス1品だけでも気軽に楽しめる。


**DATA**

④ Diputazio Kalea, 10, 48008 Bilbao, Bizkaia, Spain ☎ +34-944-15-56-15



A：ホセリートという高級ブランドの生ハムが名物。その他、フォアグラと卵を使った料理もおすすめ B：スタッフのサービスも親切でカジュアルな雰囲気なのもいい



# ISETAN MEN'S

〈イセタンメンズ〉が今季大幅リニューアル。  
よりパーソナルに特化した  
自分好みのモノに出合える売り場に。

メンズファッションの「聖地」として支持を集めている〈イセタンメンズ〉が、3月、15年ぶりに大規模なリニューアルを果敢とオープン。とりわけ注目したいのは、オーダーメイドの常設コーナーを筆頭とする、「パーソナライズ」に注力した店作りだ。

写真＝池田佳史、正重智生 文＝逸藤 匠 構成＝大嶋慧子  
photo: Yoshifumi Ikeda, Tomoo Syoju(BOILE) text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

グランドフロアには、ゆったりした空間で採寸が可能なシャツコーナーを用意。シーンや好みに合わせたシャツ選びにひと役買ってくれる



A: グランドフロアには、カウンセリングや肌測定を受けられるコスメカウンターがある B: B1Fには〈リモフ〉と〈グローブトロッター〉のカスタムオーダーができる専用ラウンジが。ハンドルやキャストなど自分好みのパーツがアレンジできる C: B1Fには、世界中から厳選したシューズブランドもずらり。(エドワード グリーン)、〈ジェイエムウエストン〉など名だたるラグジュアリー靴のオーダーメイドにも対応

**ビ** ジネスシーンにおいて、見た目やフィット感など、自分に合ったものを身につけることは大切。仕事相手からの好感度はもちろんだが、自身のモチベーションも上げてくれるから。そして、その希望をしっかりと叶えてくれるのが、新しくなった〈イセタンメンズ〉。数ある新機軸の中でも目玉は、今までよりアイテム数も充実し、よりパーソナルに特化した「オーダーサービス」。たとえば、ビジネスマンに欠かせないシャツやシューズは、素材や色、フィット感などのセレクトの幅が格段に広がった。しかも、ゆったりとしたオーダースペースで選べるのも気分がいい。ほかにも、1Fメンズコスメのゾーンが拡大。自分の肌質を測定し、次回から時間をかけずに適切なアイテムを選ぶことも可能。そう、ここでは、頭の先からつま先まで、自分流を追い求めることも夢ではない。

## DATA

〈伊勢丹新宿店メンズ館〉  
④東京都新宿区新宿3-14-1  
◎10:00~20:00  
買い物のほか、2Fに新設されたアールスペースや、5Fのスーツ工房などにも立ち寄ると楽しい。

Luxury Experience!

# CONVERTIBLE\*

Bentley Continental GT Convertible / ベントレー コンチネンタル GT コンバーチブル

BMW 8 Series Cabriolet / ビー・エム・ダブリュー 8シリーズ カブリオレ

## ハイエンドなオープンモデルで味わう、本当の贅沢。

プレミアムカーブランドから、ハイエンドモデルのオープンカーが続々発表されている。優雅で快適な装備に、さらに日差しや風を楽しめる贅沢が加わる。そこには“本当の贅沢”があります。

文=九島事務所 text: Kushima Office

**ど**んなにSUVが流行ろうと、「3列シートニーズがあります」と自動車メーカーが語ると、2ドアモデルは永遠である。そして、その屋根を取っ払ったオープンモデルも絶えることはない。

そんなことを思わせるモデルが次々と登場している。写真の〈ベントレー〉コンチネンタル GT コンバーチブルと〈ビー・エム・ダブリュー〉8シリーズ カブリオレだ。どちらもクーペの登場後、矢継ぎ早にその姿を現した。それだけニーズがあるということだろう。さらに言うと、今年頭のデトロイトモーターショーではコンセプトモデルながら、〈レクサス〉LCのオープンモデルもステージ上に飾られた。優雅なその姿に見とれた人は多かったに違いない。スポーティかつエレガントで上品な趣にあふれていた。

ということからわかるように、今、プレミアムブランドのハイエンドモデルでオープンモデル投入の流れが起きている。冒頭に記したようにSUV全盛でありつつも、この辺の κατηγοリーは不変なのだ。しかも自動車創成期から。

新型は着実にカスタマーに都合のいいよう進化している。キャビンへの風の巻きこみを軽減させるのはもちろん、ロールオーバーを含む衝突安全対策もバッチリ。さらに言えば、寒さ対策も進歩している。シートヒーターとステアリングヒーターはデフォルト。近年はヘッドレスト付け根から温風が出るネックウォーマーを装備するクルマも増えた。そして今回のコンチネンタル GTは、肘を置くところのセンターコンソール部分も暖められる。つまり、人とクルマが接する部分はすべてヒーティングされるということ。残りは足の裏くらいだろう。なので、こうしたハイエンドモデルは、オールシーズンで快適にオープンエアモータリングを楽しめる。オープンカーは夏の乗り物という概念はすでになし。まあ、そもそも英国あたりは、冬も寒さを我慢しながら走りを楽しむ文化ではあるが……。

ということで、そんなトレンドがあることに注目してはいかがだろう。本当の贅沢がそこにある気がする。快適装備に包まれてオープンエアを楽しむのだからこのうえない。しかもこの2台は4シター。リアシートの使い方は自由自在だ。

それと屋根を閉じたときのキャビンの静粛性も抜かりはない。新型コンチネンタル GT コンバーチブルの静粛性を数値にすると従来型のクーペに匹敵するという。いやはや恐れ入る。もはや屋根開きを買わない理由はない!?

## BENTLEY Continental GT Convertible

[ベントレー コンチネンタル GT コンバーチブル]



### オープントップにしてパワーはスーパーカー級。

従来型とそれほどディメンションを変えずして、よりスタイリッシュに見せるスタイリング。スポーティなロングノーズ&ショートデッキのフォルムがお見事。エンジンは昨年リリースされたクーペと同じ6.0 W12 TSIが搭載される。ツインターボで過給されるパワーは635ps、最大トルクは900Nmを発生させる。今後V8モデルも追加予定。

A: コンバーチブルは豊富なボディカラーが際立つ。絶妙な大人っぽい中間色がよく似合う B: インテリアはまさにゴージャス。インターフェイスは最新だ C: 屋根の開閉は19秒。50km/h以下なら走行中も操作可能。屋根の色は7色あり、英国調のツイード柄も用意される



## BMW 8 Series Cabriolet

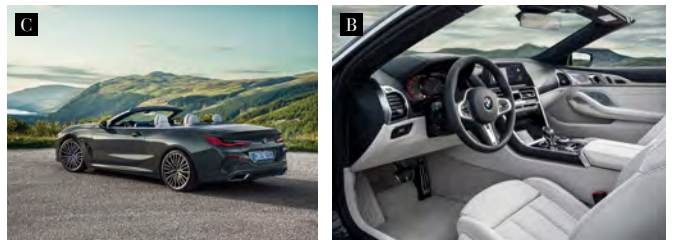
[ビー・エム・ダブリュー 8シリーズ カブリオレ]



### スポーティでありながらエレガントな仕上がり。

6シリーズからバージョンアップされ、8シリーズとして生まれ変わった大型オープントップモデル。ワイド&ローに見えるのは、既存の6シリーズクーペとサイズを比べて、全長がやや短く全幅は広がり、全高が低くなっているから。〈ビー・エム・ダブリュー〉M850i xDriveカブリオレのエンジンは4.4ℓ V8ツインパワーターボで530psを発揮する。

A: 発表されたのは M850i xDriveカブリオレ。"M"専用バンパーやアルミホイールなどでお化粧される B: シートカラーのバリエーションを増やしエレガントさをアピール。インターフェイスはここから新世代へ C: 幌の開閉は50km/h以下で稼働。時間は約15秒



☎ベントレーコール ☎0120-97-7797 BMWカスタマー・インタラクティブ・センター ☎0120-269-437

※掲載商品お問い合わせ先 / ●P31: モンブラン コンタクトセンター ☎0120-39-4810